東峰テレビ開局 13 周年記念

「ふらっと九州☆東峰村」全国配信へ

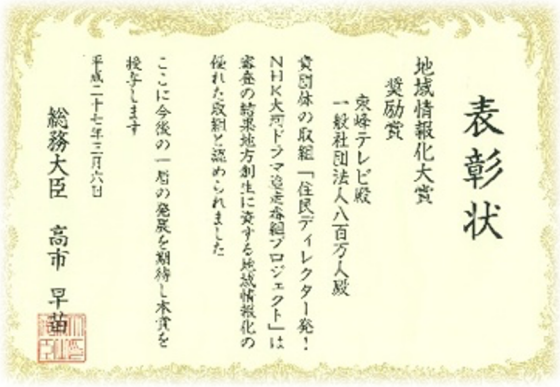
交流、関係を深めるための新番組登場!!

福岡県東峰村 東峰テレビ

はじめに・・・

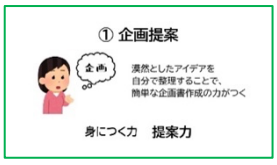
■開局 13 年から未来展望へ■

東峰テレビは 2010 年の地デジ化の年の 11 月 1 日に開局し、「村民みんなで創るテレビ」を掲げ、地域おこしテレビとして奮闘してきました。時には全国的な注目を浴びる既存テレビ局との繋がりや災害時の独自発信などでその名を轟かせましたが、その中心的な役割を担うのは活動的な村民の「住民ディレクター」です。



▼住民ディレクターの企画力▼

「住民ディレクター」はテレビのディレクターのお役目の前に「地域おこしのディレクター」であり、地域活動の現場から村民や集落、村の動きを伝えることで情報化による地域活性化に貢献します。また、番組作りを経験することで企画力が養われ、身の周りのことだけでなく、広く村民全体の動きを取材や編集を通して肌身で感じ、村全体のことを考える人たちが増えていきました。



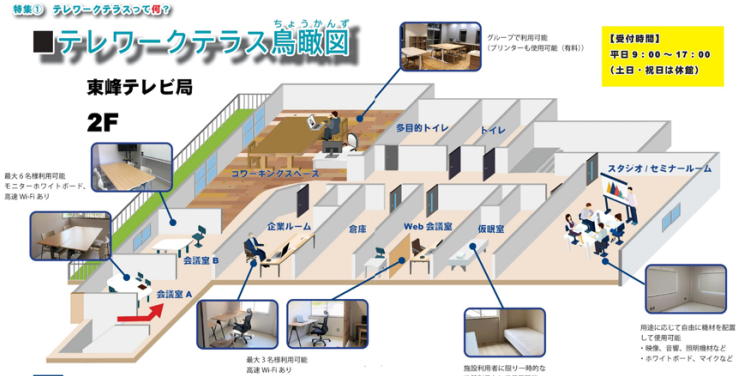
別紙 資料 A.
住民ディレクターの企画力について

▼むらびと未来力のパワー▼

村民の住民ディレクター活動は様々な機会で多くの成果を上げていますが、特に九州北部豪雨被災時には多くの村民が災害で大変な中でも映像記録を残し、番組で被災者自身が語りました。結果的には住民ディレクターのノウハウが多くの村民に東峰テレビを通して自然と浸透していることがわかりました。毎年 7 月には復興状況を全国発信する番組を制作してきました。2020 年にはテーマを「むらびと未来力」とし、復興から創生に向かう転換点と捉え、多くの村民が集落や自分自身の状況を率直に伝えてきました。

▼移住者、交流、ふるさと愛▼

今回の新番組「ふらっと九州☆東峰村」はこのような「むらびと未来力」を子どもたちへ継承し、DX 時代の新たな地域活性化活動を育みます。具体的には東峰テレビの 2 階に整備された**福岡県のデジタル拠点**、**テレワークテラス宝珠**との連携による「**移住者・定住者促進**」への情報発信です。すでに応援団のように支えていただいている**東峰村ファンや支援者の皆さん**との交流、関係性を深めていき、東峰村への**ふるさと愛**をもとに、自分のふるさととして復興、創生のサポーターとなっていただくきっかけを提供します。言わばこの応援団の皆様を「**バーチャル村民**」「**セカンド村民**」と捉えてさらに深いご縁を結んでいくのがこの新番組の役割です。



テレワークテラス宝珠（東峰テレビ 2 階）

先生が住民ディレクターに!!
学園ちゃんねる（東峰学園制作）

■■■「ふらっと九州☆東峰村」の特色 ■■■

▼住民参画、住民主体の番組制作▼

これまでは住民ディレクターが番組制作の全てに関わってきました。今回の番組でも住民ディレクターはスタッフとしても活躍してもらいますが、主に**企画、コンテンツの中心的存在**として村民自身が語るリポートや報告などに重点を置き**東峰村の実像を素顔で伝える役割**をしてもらいます。

▼「企画は村民」、「技術はプロ」▼

技術的なスタッフはこれまで仕事を超えて交流、関係してきた**プロの映像制作者**等の方々の支援、協力を得て成り立ちます。プロの応援団による支えによって村民の表現、発信の場が確保され、「企画、コンテンツは村民」、「技術はプロ」という新しい番組制作のスタイルが**全国でも初めてのモデル**として登場します。

東峰テレビでは**地域おこし協力隊**の活躍が目覚ましく、全国的にもほぼ例のない移住者の番組制作者として活躍しています。2 階のテレワークテラス宝珠の管理人も移住者の元地域おこし協力隊が務めており、この番組でもサポートスタッフとして活躍の予定です。

▼新たな放送文化の提案▼

総合プロデューサーは**民放を 13 年半経験**し、「住民ディレクター」を考案、起業、東峰テレビ開局から東峰村に住み込んで 12 年間、**東峰テレビで地域おこしを実践**してきました。そして、放送業界に貢献した個人に与えられる**放送文化基金個人賞**を昨年受賞しました。この賞は**森繁久彌さん、筑紫哲也さん、さだまさしさん**など放送業界の重鎮や代表的な存在感ある方々に贈られてきた賞で、「テレビで地域おこし」という稀有な分野での受賞は今後の放送業界の新しい可能性を開いたとの評価をいただきました。

▼司会者、番組ディレクターも応援団から▼

司会を担当する二人も応援団として番組に参画、一人は**福岡県のアナウンス学校随一の実力を誇る校長**自ら参加、パートナーとなるアナウンス学校の受講生は東峰村のお隣の**朝倉市杷木町在住の大学生**です。朝倉市の観光大使卑弥呼の一人としても活躍中で、東峰テレビの番組作りを経験することで朝倉広域地域の地域活性化にも寄与する人材として期待されます。

チーフディレクターは東京に本社を置き、本人は主に福岡県内で活躍する制作会社のベテランディレクターです。これまでに NHK や民放で数多くの番組に関わってきました。民放の番組で活躍するタレントたちが災害後の東峰村でボランティア活動をする橋渡し役ともなり、遂にその一人が地域おこし協力隊として村に移住しました。そのタレントは今回のトップコーナーで窯元巡りをリポートしてくれます。**番組上のお付き合いをはるかに超えた東峰村応援団が番組制作の応援**をしてくれます。

▼第１回目に眞田秀樹村長　素顔に迫る!!「運命の人」

眞田秀樹　東峰村村長

第１回目のメイン出演者は村長となって１年目の眞田秀樹村長です。眞田村長は合併前の旧宝珠山村役場、その後旧小石原村と合併した東峰村役場の二つの役場経験でほぼ全ての行政職を経験し、総務課長のあと、突然副村長に指名され、わずか数ヶ月で村長になることになった**運命の人**です。**役場の全ての業務と副村長を経験した全国的にも大変珍しいキャリア**となった眞田村長の村政から意外な素顔に迫ります。村の姿を知るために移住者や応援団に最も関心が深い村の**トップが先頭をきってスタジオで本音**を語ります。

この他に、東峰村出身で、結婚後福岡市に移り住む起業家で東峰村の**ふるさと観光大使の村への「ふるさと愛」**
二人の地域おこし協力隊が小石原焼、高取焼の窯元の素顔を紹介する**「窯元巡り」**
東峰テレビの２階に整備された福岡県のデジタル拠点テレワークテラス宝珠の**「デジタル活用のヒント集」**
村の広報誌から応援団のための情報をピックアップしてお知らせする**「あなたの広報誌」**
などなど東峰村応援団のための魅力たっぷりの**東峰村ガイドブック的コーナー**が充実しています。

東峰村ふるさと観光大使
上野恵梨奈さん

地域おこし協力隊
関岡マークさん、高取清風さん

テレワークテラス宝珠　東峰村広報誌
浦義勝さん　室井佑介さん　小林純一さん

■全国の自治体、地域活動、社会活動の「スキル」としてのモデル番組へ■

「テレビで地域おこし」の新たなテレビ文化は見方を変えると地域活性化、地域情報化にテレビ的なノウハウをうまく生かすことで**どの地域でも実現可能な手法**です。今や「テレビのノウハウ」はパソコン、スマホ、YouTube や様々なインターネットメディアで多種多様に活用されています。東峰テレでは 2010 年からスタートし、ケーブルテレビをスタートに **CS 衛星放送**、**インターネット TV** をスカイプからグーグルハングアウト、YouTube へさらに Facebook や Twitter などの多様なメディアで同時配信をしてきました。これらは**企画、コンテンツさえしっかりすれば、組み合わせ次第で独自の地域メディア**になります。このノウハウは全国でも先駆者として走り続けてきた東峰テレビはいよいよ DX までを視野に入れて、地域おこしの道具として新たに開拓していき、全国の自治体、地域活動、社会活動に有効な**モデルを提案**していきます。

■来年は「テレビ 70 歳」■

テレビは来年で 70 歳の誕生日を迎えます。昭和 28 年の 2 月に NHK、8 月に日本テレビが開局しました。総合プロデューサーは、民放で 13 年半、報道制作の現場で記者、ディレクター、カメラマン、編集・・とあらゆる業務を経験し、ズームイン!!朝!、24 時間テレビ、11PM などの全国番組を多数経験し、独自の地域おこし番組、住民手作りドラマなど放送業界で日本初の企画を次々と立ち上げてきました。その流れで地域おこしに多方面で有効性が高いテレビに着目し、**「住民ディレクターの地域おこし」で起業して 25 年**になります。

昨年、放送文化基金賞を受賞してから、改めて「テレビとは？」について考えています。今回の「ふらっと九州☆東峰村」は**その答えを出すべく構想していた実験番組**でもあります。テレビを使って継続する交流、関係性を育み、移住、定住、応援団増加を目指すテレビは今後多くの地域のニーズと放送局のニーズがマッチする交錯点にあるのでは？との仮説を持っています。

■新しい住民 DX の大実験番組■

そしてこの番組こそ新しい DX 時代のテレビの可能性を探る実験番組になるのでは、との意気込みで全国のテレビのプロの応援団の協力を得ながら展開する計画です。東峰村が水害を乗り越えて明るく楽しく暮らせる村として末長く生き残る戦略が住民主体の DX です。それはテレビによる縁結びをデジタル技術で実現する**新たなコミュニティ創造の場**の誕生です。

マスコミの皆さまにも応援、支援をどうぞよろしくお願い致します。

＜お問い合わせ＞

東峰テレビ　０９４６－２３－９１０７　　担　　当　　梶原 愛理
tohotv11@gmail.com
０９０－３１９２－３４４１　総合プロデューサー　岸本　晃
prism.akira@gmail.com